※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００２

令和５年度　食品加工科

教科	農業	科目	農業と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	農業情報処理　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、スマホやインターネットに対して、理解を深め、良い使い方は何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、ワークショップや演習等を通して考え、友だちを含めた多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
・ワード・エクセル・パワーポイントなどの使い方を学び、それを利用してプレゼンテーションを行えるようになりましょう。

2　学習の到達目標

・食品産業に関する情報について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。・コンピュータの仕組みやネットワークの仕組みを理解し、それらを適切に活用できる。
・食品産業に関する情報の活用に関する課題を発見し，食品関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
・食品産業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び，食品産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・情報と情報技術の適切な活用、情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任、に関する基礎・基本的な知識及び技能を身に付けている。	・自身の考えの発表や生産物の公告などを行う際、適切な情報処理ツールを用いて効果的なものを作ることができる。 ・食品の加工や販売、農業等の活動における諸データを適切なプログラムや演算を選択して処理し、適切な形で出力することができる。	タイピング技術の向上のために自主的にかつ継続的に練習に取り組んだり、情報処理技術を利用したデータ処理や広告物や発表の作成に対し、意欲的に学んだ技術を利用しより完成度の高いものを作ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生活と農業の情報化	情報化社会のモラルとセキュリティ	a:情報ツールを利用する際のモラルや著作権などの権利に関する知識を身に付けている。 b: 実社会で行われる行為の違法性の有無を判断することができる。 c: 情報モラルや著作権の保護に課する知識を、自身の身の回りの事象に関連付けて考えようとする姿勢がみられる。	定期考査	定期考査	授業プリント
	コンピュータによる情報の活用	日本語ワードプロセッサの利用	a:Microsoft Word の基本的な使い方を理解している。 b: Microsoft Word を用いて日本語ワープロ検定準二級程度の文書作成を行ことができる。 c:日本語入力の速度向上に向けて粘り強く練習をおこなっている。	授業課題 実技試験 タイピングテスト	授業課題	授業課題 実技試験
2学期	情報の基礎	コンピュータと情報処理 情報通信ネットワーク 情報のセキュリティ管理	a: コンピュータによる通信や処理の仕組みについて基礎的な知識を理解している。 b: セキュリティに関するトラブルが起きないようにする対策や起きた際の基本的な現場対処の方法を考えることができる。 c:ネットワークやセキュリティについて意識を高め、身の回りの設備やリスクについて考えられている。	定期考査	定期考査	授業プリント
	コンピュータによる情報の活用	プレゼンテーションソフトウェアの利用	a:Microsoft PowerPoint の基本的な使い方を理解している。 b: Microsoft PowerPoint を用いて自らスライドを作成できる。 c: Microsoft PowerPoint を利用し、試行錯誤しながら効果的なプレゼンをつくることができる。	授業課題	授業課題 授業内発表	授業内発表

※令和４年度以降入学生用

	コンピュータによる情報の活用	表計算ソフトウェアの利用	a:Microsoft Excel に関して、SUM や AVERAGE 程度の基本的な関数やグラフの作成の仕方を理解している。 b: Microsoft Excel を用いて情報処理を行う場合に適切な関数やグラフを判断し利用することができる。 c: Microsoft Excel の利用について、積極的に様々な機能を試している。	授業課題	授業課題	授業課題
3学期	情報の基礎	コンピュータと情報処理	a: コンピュータが処理する仕組みについて基礎的な知識を理解している。 b: 二進数の変換ができる。 c: 授業で学ぶ内容を自分の周りのことに関連付けて考えられている。	定期考査	定期考査	授業プリント
	スマート農業への展望	プログラムの設計	a:フローチャートを理解し、Python を利用したプログラムの作成の仕方を理解している。 b: 簡易なプログラムの基本設計を行い、Python を用いてプログラミングすることができる。 c: プログラミングが社会をどのように支えているかを意識し、活用について思案できる。	授業課題	授業課題	授業課題

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度